

## 平成30年度 公区長会議質疑応答

No.	質問者	質問・意見	回答	担当部
<b>質問意見・要望</b>				
1	中央町3	<ul style="list-style-type: none"> <li>公区長の身分について。行政区と公区についてははっきりすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公区長の身分は地方公務員法に基づく非常勤特別職の公務員です。町としては、行政区設置条例で定める「行政区」と「公区」は同義と捉えており、一方で活動に賛同される地域住民の方々と組織されてコミュニティ活動を行う「町内会」とは別であると認識しています。公区長には行政区設置条例に基づく行政区の長として、行政区設置条例施行規則に定める職務を担っていただきたいと考えています。なお、地域によっては、「〇〇公区」と称している「町内会」があることから、一概に「公区」といっても、「行政区としての公区」と「町内会としての公区」の二面性を持ち合わせている実態があることも認識しています。</li> </ul>	住民福祉部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>町史を熟読していない職員が多い。町の歴史を認識しておくべき</li> <li>新田ベニヤ（現ニッタクス）は5年後に100年を迎えるが特に町としての考えはあるか</li> <li>広報について、内容はすばらしいのだからもっと読まれる工夫を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に対して様々な研修を実施していますが、町史を取り上げてまでの研修は行っていないのが現状です。しかし、「歴史から学ぶ」ことは大切であり、各担当において折に触れて過去を把握し、歴史を認識したうえで施策を考え業務にあたっています。</li> <li>町を語るうえで、新田という名前、企業名を抜きにしては語れない事実があります。戦前から新田ベニヤの合板技術があらゆる産業に大きく貢献し、戦中には飛行機の素材となったため、幕別町が空爆にあったという歴史があり、また、戦後には関連会社の新田牧場が、新和・明倫地区の山林・農地解放を行ったことで自作農が増えていきました。そのような大きな功績がありますことから、ニッタクスの歴史については今後の町史の編纂の中で十分議論されていくことになるだろうと考えています。</li> <li>広報は町の歴史の資料にもなるものであり、町民の皆様へ伝えていくことが重要です。広報モニター（6名）に意見を頂きながら、読んでもらえるよう今後も都度改善を図っていきます。</li> </ul>	企画総務部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の取り扱いが非常に難しく、要支援者を把握したいが困難な状況になっている。町の考え方も後進的ではないかと思う。公区長に対して講習会などを開催しては</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報は「個人情報保護法」に基づき取り扱っていただきますが、取扱いは厳しくなっています。公区からの要望に対して名簿の閲覧を行っていますが、町から提供できる情報が段々と制限されていることもご理解をいただきたいです。提案をいただいた講習会については、公区長会議で行うか、またはどのような場面が良いのか方法を検討したいと考えています。</li> </ul>	企画総務部
3	北町1	<ul style="list-style-type: none"> <li>公区の行政的な活動と町内会のコミュニティ活動を比べると圧倒的に町内会活動の方が多い。町内会行事（例えば野遊会）におけるケガなども「公区活動保険制度」で保障されるのか？</li> <li>町が改訂した防災計画では大雨時の避難場所が変更されたが、「公区防災のしおり」の避難所を修正するだけでも「協働のまちづくり支援事業」の補助の対象経費になるのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会のコミュニティ活動も、「公区活動保険制度」の対象範囲になります。</li> <li>一部分の修正であっても、町の計画の改訂に伴う変更ですので、「公区防災活動支援事業」のメニューにおいて補助の対象になります。</li> </ul>	住民福祉部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>3月の大雪後だが、稲志別の排雪場所について、排雪場所までの道（170mくらい）が軽トラでは困難であった。借地だと思うので、地主と協議して砂利入れなどの対応は検討できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は凍結が緩んでぬかるんだ状態であったと思いますが、今年度は随時状況をみながら対応してまいります。</li> </ul>	建設部

No.	質問者	質問・意見	回答	担当部
<b>質問意見・要望</b>				
4	相川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道沿いの農業振興地域の問題がスッキリしない。この度息子が結婚し、敷地の空き部分に家を建てたいと計画しているが、制約が多くて建てられない。建てられるとしても宅地の面積が狭いので計画通りの家は難しいらしい。分かりやすく説明をしてもらえないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業振興地域については住宅の建設などで制約はありますが、個々の状況（農業者である、またはご子息等々）によっても異なります。まずは町の担当まで相談していただきたいと考えています。</li> </ul>	経済部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町全体の人口減少対策を町行政として行うべきでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冒頭の町長の挨拶の中でも、また昨年度策定した第6期総合計画でも人口減少対策については大きく位置付け、マイホーム補助や子ども医療費助成など様々な子育て施策等を実施しています。十分な分析ではないが、15歳以下の人口及び25歳以上の人口で増加が見られるなど、少しずつではあるが効果が現れてきていると捉えています。</li> </ul>	企画総務部